

敬老の日に始まった日本初のシルバーシート

## 「優先席」に啓蒙ステッカー貼付

伊豆箱根鉄道株式会社(本社：静岡県三島市、代表取締役社長：伍堂 文康)の駿豆線・大雄山線では、1973年9月15日の敬老の日より、日本で初めてシルバーシートを導入しました(旧国鉄時代の中央線快速電車も同日に導入)。この9月15日はシルバーシート記念日にもなっております。

つきましては、本年の敬老の日となる9月16日(月)に向け、改めて優先席の啓蒙活動のため、以下のステッカー貼付作業を三島駅・小田原駅で実施いたします。

※当時9月15日だった敬老の日は、現在9月の第3月曜日になっています

※シルバーシートは現在、高齢者、お身体の不自由な方・けが人・体調不良の方・妊婦の方などを  
含む「優先席」に改称されています。



9月15日はどんな日?

1973年9月15日、当時の「敬老の日」(現在は9月の第3月曜日)より駿豆線と大雄山線および国鉄時代の中央線に優先座席制(シルバーシート)が日本で初めて導入されました。  
現在は「優先席」と呼ばれています。

ゆずりあいを大切に!

記

### ステッカー貼付作業について

1. 場所と日時

駿豆線三島駅 2019年9月13日(金) 09:09~09:27 ※最後の1編成のみ貼付します。

大雄山線小田原駅 2019年9月10日(火) 09:00~10:00

2. 全ステッカー数と大きさ

駿豆線9編成 18枚 大雄山線6編成 12枚

タテ110mm×ヨコ410mm

3. ステッカーの貼付場所

各優先席の窓

4. 期間

駿豆線は9月5日(木)から順次貼付し、9月17日(火)から順次撤去します。

大雄山線は9月10日(火)に貼付し、9月17日(火)から順次撤去します。

以上